

第8号
(通号44号)

栄養 いわて

発行元

2022年2月7日

発行所：公益社団法人岩手県栄養士会

責任者：澤口 眞規子

〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通6-50 井上ビル

TEL：019-625-3706 / FAX：019-625-3707

会長挨拶

コロナ禍でしたが、飛躍できた年でした

公益社団法人 岩手県栄養士会
会長 澤口 眞規子



日頃より、本会の事業推進については格別のご協力を賜り、感謝申し上げます。

「皆様にとってこの2年間はどのような年だったのでしょうか。」とお聞きしたら、きっと「新型コロナウイルス対策で散々だったよ。」という言葉が返ってくるでしょう。

冒頭からごめんなさい。栄養士会の運営でも職場の業務でも、この新型コロナウイルスは世界中から550万人、日本では18千人以上の大切な命を奪い、今も地球上で猛威を奮っています。

まさに、最大の健康危機勃発の時に、私達は命を育む生活と組織活動を続けているといっても過言ではありません。

それら感染対策が継続される中で、本年度も定時総会の縮小開催に始まり、8月下旬に予定していた第1回の生涯教育研修会を翌年1月に順延。さらには、昨年度から会員皆の熱いエネルギーをもらい進めてきた岩手県食形態分類標準化推進事業の2年目は、『嚥下調整食の調理力アップ研修会』の展開でした。

昨年度後半から、専門委員を中心に技術ある病院調理師さん方の協力をいただき、ガイドライン作成、研修開催の諸準備を進めてきましたが、県独自の『緊急事態宣言』が出され、本会として中止せざるを得なくなりました。

しかし、このままストップするのでは、あまりにも残念。スタッフで知恵を出し合い『調理動画』のホームページ掲載に変更しました。お陰様で、動画には予定講師に登場していただき、ガイドラインを分かりやすく再現できました。ぜひ、ホームページでチェックしてください。

さて、今年度の最大のイベントとして『第16回食育推進全国大会 in いわて』が、6月26～27日にアイーナ県民プラザ(盛岡駅西口)とアピオ(滝沢市)を会場に開催する予定でした。

栄養士会でも予算を集め、アイーナでは①『うまく食べられているかな?』～親子で、朝ごはんチェック～ ②『健康・栄養相談』～生活習慣病

を予防する食事のこと、何でもお答えします～ ③『君の描いた絵が動くよ!おえかきパラダイス』は全国的にも新しい企画 ④先輩栄養士さんの協力による『栄養ミニ講話』 ⑤『健康ストレッチ体操』 ⑥『食育かみしばい』を企画しました。また、アピオでは『命とからだを守る災害時の栄養・食生活』～東日本大震災津波の教訓を生かして、災害時の食事支援を考える～の展示です。

しかし、皆様もご承知のとおりの結果です。実行委員会の決断により、参集型イベントは止め、全て映像による各組織団体からのプレゼンテーションに切り替わりました。当会では、アイーナ会場の楽しい企画は中止としましたが、アピオの展示については、本大会のコンセプト“食を通じた復興支援への感謝”として全国発信が求められましたので、県健康国保課と何度も調整を図りながら映像化を進めました。『命とからだを守る災害時の栄養・食生活』は、ぜひとも県内の栄養士全員に見ていただきたい!!!

10年前の大災を顧みて、私たち栄養士ができたこと、やり残したこと、改善に取り組んだことを3つの教訓にまとめています。今春、岩手県地域防災計画に、①要配慮者等に応じた物資(食料)の備蓄 ②被災者の身体やニーズに応じた食料備蓄 ③食料の備蓄、輸送、配食等に当たっては、管理栄養士の活用を図ることをしっかり書き込んでいただきました。全国栄養士会の先駆的取り組みです。

コロナ対策緊急発令だから何もできない…ではなく、そんな有事においてこそ、我々が培った専門性、行動力、連携機能を生かす時です。

日頃からの積み重ねこそ、このパワーの源です。これからも、栄養士会としてボトムアップとチームワークを作っていきます。皆様の更なるご協力をお願いいたします。

食育推進全国大会 岩手 検索
<https://www.syokuikutaikai16th-iwate.jp>



栄養に対する思い

岩手県立中央病院 院長
岩手県食形態分類標準化推進委員会 委員長 宮田 剛先生

岩手県立中央病院の宮田剛です。2021年11月20日に岩手県栄養士会の生涯教育研修会で周術期栄養管理のお話をさせていただく機会を頂きました。専門は消化器外科ですが、2000年ころよりNST活動に関わるようになったことから、栄養士さんとのお付き合いも多くなりました。自分が受けた栄養に関する教育は、当時のTNT研修会の二日間だけで、あとは独学ですので、えらそうに講義をする資格は全くないと認識しておりますが、大学病院NSTチェアマンという立場であったことから、恥ずかしながら講演なども引き受けることもありました。ただ、外科周術期管理という文脈の栄養管理としては、本業ですので、力を込めてお話をさせていただいております。そんな立場の人間から見ても、栄養はしみじみと切実に大事なのですが、その重要性を他のスタッフに同様に「感じてもらえるか否か」が一番の苦勞するところであり、肝(きも)だと実感しています。医療職は皆忙しく駆け回りながら、いい加減(?)食事をしているも何とか仕事をして生きていける感触を持っているためか、患者さんの栄養適正化に真っ向から取り組む姿勢もなかなか根付かないのが現実です。ものごとは、設備や制度が整備され、知識が出来たとしても「思い」がないと継続しないと云われます。

ひとつ思い出話になりますが、2000年頃から日本全国の病院でNSTの機運が盛り上がっていたにも関わらず、とある沿岸の病院にはその後10年経ってもNST

は設置されていませんでした。しかし東日本大震災で被災し、避難所を回る病院スタッフが、次々にできる高齢者の褥瘡を見て胸を痛め、「栄養だ!」と天からの啓示を受けるがごとく突然NSTが立ち上がったのです。このNSTのモチベーションはとても高く、多職種ともに熱心な学習意欲でした。私も少し関与することがあったので、このNSTの勢いは実感しましたし、こういう「思い」があると本当に実効性のあるNSTが定着するなと感じた次第です。

研修会でも少し触れさせていただきましたが、栄養士さんのお仕事は、相手の行動変容を促すお仕事で、とても知識と技術の要る職業と思います。相手の行動変容を得るために必要なのは、納得のいくプレゼン能力かもしれませんし、怖がらせる脅迫力(!)かもしれないし、あるいは洗脳能力かもしれません(笑)。できれば納得のいくプレゼン能力にしてほしいところですが、それは「思い」の形成能力とも言えます。栄養に関しては、患者さんだけでなく、スタッフに対しての働きかけである必要があると思うのです。医療スタッフが、「栄養をきちんとするとこんなに結果が違う」、「しないとこんなにひどいことになる」と認識し、「あー、こりゃなんとかせんといかん」という共通の「思い」ができるようになるとう良いなと思うところです。今後とも岩手県栄養士会の皆様のご活躍を心より応援しております。



栄養の重要性を「感じてもらえるか否か」が肝です!



期待に答えられるよう、しっかり頭に叩き込んでいます

おいしく鉄・カルシウム!
おくちに笑顔
元気をカラダに

ソファル元気
ヨーグルト [70g]

Yakult 岩手ヤクルト販売(株)
〒020-0125 盛岡市上堂4-3-4 TEL.019-641-8960

株式会社 小田島アクティ
人生100年時代をサポートする企業として

高栄養食 福祉用具(重度) 福祉用具(軽度) 制限食(腎臓等) 一般食 介護用品

生活に欠かせない食品、健康寿命の延伸に必要な福祉用具や介護用品。これらを1つの会社で扱っている企業は多くありません。広く高齢者の方、健康をそこなわれている方の力になることだけでなく、関わる方全ての健康に貢献できる会社を目指します。これから迎える人生100年時代に本当の意味で必要とされる企業の姿をこれからも追い続けていきます。

安定流通
岩手県、青森県、秋田県、宮城県、福島県の5県に計15営業所を展開。(医療食部4、介護用品部11)
食品ロス削減や地域毎のニーズ対応、流通の安定性確保を目的として、それぞれが在庫環境を構築、社内でも商品の調整を行えるようにしています。 ■医療食部 ■介護用品部

医療食部 盛岡営業所
〒020-0837 岩手県盛岡市津志田町一丁目11番15号
TEL: 019-635-6195
FAX: 019-635-5126

嚥下調整食マスターのための調理力アップについて

食形態推進部長 山崎 久美子

1 研修会までの道のり

令和3年度「岩手県食形態分類標準化推進事業」は、嚥下調整食調理を担当している調理師の知識向上と技術力アップを目的に「嚥下調整食 調理力アップ 岩手県ガイドライン（以下ガイドライン）」の作成と、それを用いた調理力アップ研修会の開催を計画しました。

内容は、専門委員による講話、ワーキングメンバー病院調理師による調理実習と試食としました。

岩手県医師会 常任理事 宮田 剛先生（県立中央病院院長）を委員長とする上記事業推進委員会（令和3年7月29日）において提案したところ、「県内各地で大いに推進してほしい」と励ましをいただきました。

2 ワーキングメンバーが取り組んだこと

ガイドライン作成ワーキング会議は令和3年1月から開始しました。県内関係施設から推薦された調理師と専門委員により構成し、6月完成を目処に「見やすく、再現性のある嚥下調整食モデル献立」を考案しました。各施設から魚・肉・卵・芋類・野菜類・デザート・粥ゼリーのレシピを持ち寄り、掲載内容を検討し、材料、作り方、写真レイアウトや言葉表現などを統一しました。献立以外の掲載内容は各専門委員が担当し「調理力アップのための心得」は各調理師からのメッセージです。第5回ワーキング会議（7月16日）は、研修会本番を想定し、各担当が調理ポイント等のプレゼンを行い、内容の確認と料理を試食し、学会分類2013のコード分類に準じているか確認しました。

それらを土俵に「研修会」の企画を進めました。良質で均一な嚥下調整食が全県で実施できるよう県内20カ所（盛岡・県南・沿岸・県北の4圏域）、1会場30名を目安としました。事務局が会場借用、講師日程を調整、特殊器具器材と実習材料調達まで完璧に準備が終わった瞬間…県独自の『コロナ緊急事態宣言』が出され…苦渋の決断を迫られました。結局、すべての研修会を中止せざるを得なくなりました。

3 動画配信

研修会には既に400人を超える受講申込をいただいたこともあり、“中止”のままでは申し訳ないと判断し、受講希望者にガイドライン送付と調理動画配信することを決め、ワーキングメンバーにより収録をしました。調理手順を間違えなく伝えるために何度も撮り直しを行いました。岩手県栄養士会ホームページから閲覧可能です。どうぞご覧ください。

岩手医大のメンバー（才川さん、田中さん、松本さん）から感想をいただきました。

「この活動を通して各病院の嚥下調整食の調理方法を知ることができました。普段の業務を見直す貴重な体験でした。動画撮影は、誰にでも分かりやすく具体的に言葉と映像で伝えることの難しさを体験しました。この経験を職場で共有し今後も病院給食に携わって行きたいと思います。コロナ禍で活動できたことに感謝致します。」と言葉を添えていただきました。

4 今後の展望

昨年12月に、先述した「岩手県ガイドライン」の評価と「栄養管理情報提供書」の活用状況の調査を実施しました。御協力くださった皆様に感謝致します。

また、令和4年度は、在宅栄養ケアに注視し「かんたん在宅ケア食テキスト」作成、地域・在宅支援ボランティア育成により、在宅生活者の低栄養対策と基礎疾患の重症化予防を推進します。

また、新たな取り組みとして、施設・病院等のスタッフが協働して作成した「嚥下調整食動画（インスタ）」を大募集します。自施設の嚥下調整食を教えてください。但し、応募代表者は岩手県栄養士会会員とします。情勢にあった方法を取り入れ、情報発信・共有していきます。引き続きご支援・御協力をお願いします。



人と人を
笑顔でつなぐ



業務用厨房機器製造販売
株式会社 中西製佐所
盛岡営業所 〒020-0839 盛岡市津志田南二丁目2番38号
TEL:019-639-1671 FAX:019-639-1677



株式会社
肉の横沢
Yokosawa's Meat Co.,Ltd.

■本 社■
八幡平市大更 21-52-1 TEL 0195-76-3026 FAX 0195-76-3047

コロナ禍でも栄養士業務を忘れずに

副会長 金谷 明美

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う新しい生活様式の適用等により日常生活が大きく制限されるようになり、早2年がたちました。会員の皆様におかれましては、緊張の中での生活が続き、大変な御苦労があったと思います。また、対人業務の縮小等、業務への支障も多くあったと思います。

さて、コロナ禍で栄養士業務がやや停滞している会員が多いようですが、今こそ、私達、栄養・食のプロが活躍する時です！！新型コロナに感染しても無症状の人もいれば重症化する人もいます。基礎疾患のある方、免疫力の落ちている方は重症化しやすいと言われていました。食事を含めた生活習慣を見直すことで、重症化する人が減るのではないのでしょうか。また、以前と比較して在宅時間が長くなった人が増えています。緊急事態宣言後で、「食事を作る時間や心の余裕が少なくなり、食材や食事を選んで買う経済的余裕が少なくなった。」「在宅時間が増えて肥満児童が増えた一方で食事が十分摂れず痩せ傾向になった児童が出現した」という調査結果がいくつか報告されていますが、知識やスキルがあれば、バランスのとれた食事を摂ることが可能です。食事を含めた生活改善を提案できるのは、私達管理栄養士・栄養士です。

コロナ禍で失われがちなのは望ましい生活習慣だけではありません。それは、人と人の繋がりです。地域の中での活動や友人との交流、会話を楽しみながらの会食やリフレッシュできる旅行、季節の行事等、人とのつながりの機会が大きく減りました。会の研修もオンラインと会場参加のハイブリッド型で行っていますが、私は、会場で久しぶりに知人と会ったときは嬉しくて思わず歓声を上げてしまいます。オンライン開催により遠方で開催される研修に参加しやすくなったという利点もありますが、一方通行になりがちです。会場の熱気を共有できる日が待ち遠しいです。

この状況はまだ続くと思います。コロナ禍であっても管理栄養士、栄養士としてのプロ意識を忘れずに、自分は何ができるか、感染防止対策に工夫してできることを取り組み、人と人とのつながりを大切に活動していきましょう。私達、管理栄養士、栄養士は職場では少数配置だと思いません。人間関係や業務に行き詰まることがあると思います。

どうぞ、会の活動を通して知り合った仲間と支えあって、コロナ禍であっても栄養士業務を忘れずに進めてほしいと願っております。大変な時ですが一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

生涯教育研修会

研修部長 松本 絵美

8月に県独自の緊急事態宣言が発令され、予定より1か月遅れて9月から生涯教育研修会を開催しました。コロナ対策として会場参加数を抑えるため Zoom 併用のハイブリッド開催としました。ところが、研修部メンバー全員が配信未経験でした。有志5人の協力を得て、必要機材準備や接続方法の学習から始まり、途中アクシデントはありましたが、何とか全4回の研修会を修了することができました。配信にご尽力を頂いた皆様、ご協力ありがとうございました。

さて、受講型式を Zoom 活用したことで、遠路の方、子育て中の方等から「参加しやすい」と好評をいただいています。また、高名な講師にも画面を通して直接ご指導をいただき、充実した生涯教育研修会が実現できました。

さらに、今年度は新採用3年以内の会員は受講無料としたこともあり、新規に20名の申込みをいただき、例年より多くの参加をいただきました。

ハイブリッド配信の方法について様々なご意見もいただいていますので、来年度に向けこれらを検討し、スムーズな研修会ができるよう努力したいと思います。

今後も Zoom 活用が見込まれるため、配信のお手伝いやアドバイスを頂ける方がいましたら、ぜひお知らせ願います。



 ~快適な環境を提案します~

 シーバイエス(株)代理店

エーワメック株式会社

本社 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15番20号
TEL 019-651-0576(代) FAX 019-654-2512

優れた技術を皆様にお届けします
検便、ノロウイルス、新型コロナウイルス検査



登録衛生検査所
株式会社 日本微生物研究所

〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町2丁目3-36
TEL 022-783-8471 FAX 022-783-8433

岩手栄養改善学会 盛会に開催!!

広報部長 伊藤 理江

ハイブリット形式で開催した第36回岩手栄養改善学会は、会場集合68名、Zoom45名と多数の方々に参加していただきました。

一般演題では、医療から2題、学校健康教育から1題、研究教育から1題と計4題の口演がありました。

多様な分野の実践発表が聞けるのは、岩手栄養改善学会の醍醐味です。同じ管理栄養士であっても課題や研究手法が異なり、職域の広がりがとても勉強になりました。

特別講演は、岩手医科大学附属病院病院長小笠原邦昭先生をお迎えし、「脳卒中循環器基本法とは？何が変わるのか？」をテーマに講演をいただきました。

国では2019年に『脳卒中循環器対策基本法』を法定化し、『循環器病対策推進基本計画』を策定するとともに、各県にもその現状と対策の方向性を『対策推進指針』として纏めることを求めています。小笠原先生は国の中核委員、そして県対策委員会長としてエネルギーにご活躍をいただいております。

先生は、まずこの法整備は全国どこでも同じレベルの脳卒中医療が受けられる環境整備や、総合的な脳卒中对策を行政が義務として行う法律であることを説かれ、特に本県は、“脳卒中死亡全国ワースト1”の汚名を返上するためにも県民の総力、コメディカルの努力が必要だと話されました。

循環器病の発症状況、医療現状（搬送、急性期～回復期シームレスな医療体制）、受動喫煙対策、迅速な患者搬送、医療関係者の育成、生活習慣の質の向上（生活のリズム、バランスのよい食生活、禁煙、節酒、睡眠、運動習慣）、かかりつけ医の活用まで、集約的に熱弁を奮っていただきました。

中でも、先生の脳梗塞手術の動画（血管内の脂肪の除去術）を見せていただいた時には参加者全員が“神の手”に驚嘆しました。

その後のシンポジウムでは、今皆さんが気になっている食品成分表八訂について、笹田陽子先生を座長に各分野の方々からお話をいただきました。

まず、今回の改訂の概要について松本絵美理事より説明をいただきました。①成分表2015年版追補(2016～2019)の反映、②調理済み食品情報の充実、③表頭の変更とエネルギー計算方法の変更により、栄養価評価が変わったとのことでした。

行政の対応について、金谷美副会長からは、①八訂の未導入施設が多いこと、②導入の見通しをつけること、③適切な栄養アセスメントには対象の栄養評価に基づく栄養管理をすることとまとめました。

最後に、千葉忍理事からは八訂の導入のノウハウをお話しいただきました。①データ切り替えに当たっての給食委託事業所との調整、②効果分析をした上での導入、③提供量の変化による喫食量のモニタリングなど、とても分かりやすく説明をいただき、会場からは共感する声が上がりました。

最後に会長より、今までも改訂のたびに順応してきたのは、管理栄養士のスキルがあるから、今回の調整にもぜひその能力を発揮していただきたいと激励がありました。わからないことは相談しながら、皆で八訂を使いこなしましょう。



小笠原先生
熱く語ってくださいました

外食産業のパートナー・パワー 業務用食材の総合商社

 **株式会社 中村商会**

本社 〒024-0004 岩手県北上市村崎野13-25-11
TEL(0197)68-2300代 FAX(0197)68-2325
盛岡支店 〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南三丁目4-13
TEL(019)639-7100代 FAX(019)639-7700
一関支店 〒021-0901 岩手県一関市真柴字川戸23-2
TEL(0191)32-5600代 FAX(0191)32-5625
横手支店 〒013-0041 秋田県横手市大沢字前田125
TEL(0182)32-5538代 FAX(0182)33-6666
秋田支店 〒010-1612 秋田県秋田市新屋豊町3-21
TEL(018)827-5123代 FAX(018)838-7855

地産地消・食の安全、安心・地域貢献

 **東北フードサービス株式会社**

代表取締役社長 室田 義 男

■ 介護施設向け食品・試食会(予約)開催中!

本社 盛岡市上田字岩脇1番地14
TEL:019-656-1221 FAX:019-656-1228
<https://www.tfs-i.com>

栄養ワンダー 2021

二戸市国保予防課 梶谷 菜

県北二戸地区では、地域の健康課題解決や栄養に関する知識の普及啓発を目的に「栄養ワンダー2021」を2回実施しました。

1回目は7月14日に、高齢者対象の低栄養予防教室として盛岡大学栄養科学部の実習生と一緒に行いました。説明しながら配布した冊子には栄養に関するヒントがたくさん記載されていたため、すぐに食生活改善に役立てられそうだという声が多かったです。

2回目は栄養週間中の8月6日に、一般向けのイベントを二戸市内の商業施設で開催しました。今回は新型コロナウイルスの影響により試食提供は中止し、二戸地区が肥満や糖尿病患者の割合が高いこと、農業を営む方が作業の合間に糖質が多い間食を

とる傾向であること、さらにコロナ禍で生活状況が変化したこと等により体重増加に繋がっているのではないかと推察し、菓子類・飲料のエネルギーや糖分、1日に必要な野菜摂取量について焦点を絞ってフードモデル展示や個別栄養相談をしました。興味深く展示品を一つ一つ見ながら質問したり、食事の悩みを相談したりすることで栄養について理解を深められた様子でした。

今後も、状況を考慮しつつ食生活改善推進員協議会等と協働して試食提供をしたり、いろいろな工夫を凝らして栄養に関する正しい情報を伝え、今以上に管理栄養士の存在を身近に感じていただけるようなイベントを開催したいと考えています。



食に想いを。人にぬくもりを。

株式会社メフォス東北事業部 盛岡支店 三浦 美智恵

株式会社メフォスは、保育園、幼稚園、学校、オフィス、工場、病院、高齢者施設様向けの給食サービス、つまり0歳児から高齢者まですべてのライフステージに食事を提供しています。給食を通じて、心身の成長や健康、病気の回復などを支えているほか、コミュニケーションの場としての空間づくりにも寄与するなど、なくてはならない存在として1962年の設立以来半世紀以上にわたって給食事業を全国2,300カ所以上(岩手県内89事業所)で展開しています。

現在、岩手県内の事業所におきましては各施設栄養士の皆様と当社の目指す安心安全な給食提供のため安全衛生管理、非常時における危機管理対策などについてご理解ご協力いただきながら運営をさせていただいております。

一昨年から続くコロナ禍においては、お客様との繋がりを大切にしている当社にとって感染対策措置

により様々なことが制限されるなど多くの課題がありました。その状況下で各施設栄養士の皆様と連携を取り、どんな時でも食事を楽しんでほしいという思いで、お客様のご要望を伺いながら、栄養バランスに加えてお客様の心を満たすよりよい食事のためにできる限りの提案をさせていただきました。“メフォスの食事はおいしい”の声をいただける度に食事を通してお客様に貢献できる喜びを感じています。

今後も笑顔でおいしいと言っていたきたい。その想いがぬくもりとなって伝わりますように従業員一丸となって取り組んで参ります。



寿司イベント



新年会

優れた人材と、より良いシステムの提供を目指して

Aid 株式会社 システムエイド
System Aid CO., LTD

システム開発	アウトソーシング
<ul style="list-style-type: none"> 栄養管理システム (Meats) 介護保険業務支援システム 預り金管理システム 物品管理システム 電子カルテシステム 医事会計システム 	<ul style="list-style-type: none"> ★オペレーター派遣 ★業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・医事会計業務 ・クラーク業務 ・システム管理 ・物品管理業務 ・中材、減価業務 ・ヘルプデスク

http://www.system-aid.co.jp
岩手県盛岡市三ツ割四丁目2番8号
TEL 019-661-6461 Fax 019-661-6463

TORYO KOHSOKU

「新価値」 = アナログ × デジタル

新たな価値はビジネスを創造する
杜陵高速印刷株式会社 TEL (019) 651-2110
www.toryokohsoku.com

県勢功労者表彰 心からお祝い申し上げます



元岩手県栄養士会 会長 平澤 郁子

令和3年度県勢功労者として受賞いたしました。表彰状に「…栄養改善事業の充実強化に務め県民の健康増進に尽力するとともに保健福祉の増進に貢献するなど県政の発展に寄与された功績は…」とありました。栄養士の業務を認めていただき嬉しかったし、元会長としてお役目を果たせたかなと安堵いたしました。

栄養士の働く場は多様ですが、個々人が健康で幸せな一生を過ごしてほしいと願う栄養指導は、県民の健康増進に繋がりに、栄養士会としての活動が、公衆衛生の向上に貢献できて

いると認められたと思ったからです。

今回の受賞では多職種の方々からお祝を頂戴いたしました。思いがけない方からお手紙や電話を頂きほんとうに幸せでした。

栄養士一人での仕事はなかなか目に見えにくいのですが、チームを組めればいい仕事ができます。忙しいからと殻に閉じこもらないで仲間に入れてもらうことも大事です。

末筆になりましたが、この受賞にご尽力いただきました県、県栄養士会、今まで一緒してくださいました皆様に心から感謝を込めて御礼を申し上げます。有難うございました。

令和3年度 厚生労働大臣表彰・岩手県知事表彰 おめでとうございます



栄養指導業務功労者 小野寺 美津子

この度、栄養指導業務功労者として、厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。推薦にご尽力下さいました岩手県栄養士会会長をはじめ、事務局、会員の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

病院栄養士として、昭和49年から退職するまで、県北、中部、県南の10ヶ所の県立病院に40年間勤務いたしました。退職後は、県立久慈病院、県立二戸病院附属九戸診療センターにおいて、栄養指導業務に関わらせていただきました。

また、県北地区の特別養護老人施設に勤務する事で、施設と病院との食事形態の連携にも関わることができ、情報を共有することの大切さを改めて学ぶことができました。地域活動職域会において、二戸地区から発進しました「栄養の日」の活動を絶やすことなく、地域住民の方々への情報提供の場として、今後も関わり続けていきたいと思っております。そのためにも微力ながら社会貢献できるよう、自己研鑽を積んでいきたいと思っております。



栄養指導業務功労者 佐々木 誠子

仕事の知識が家族の日々の食事にも役立つと栄養士を志し早45年あまり、この度このような賞を授与していただき、ご推薦下さった栄養士会の皆様、ご指導下さった諸先輩方、そして理解をして支えてくれた家族へ、心より感謝申し上げます。

病院栄養士として医療法人に勤務し、適時適温、個人対応、栄養アセスメント、チーム医療と時代と共に変化した業務の中で「食事は治療の一環」、患者さんにおいしい食事を提供しようと熱い思いを持ったスタッフに出会えたことは私の貴重な財産です。

また、栄養士会活動に参加して健康に関する知識の普及や食事指導の取り組みは仕事の幅を広げてくれました。

そして今、栄養士会より紹介いただいた医院で栄養指導を行っております。その中で感じることは、40年の現場経験の知識だけでなく、患者さんの暮らしに耳を傾けながら、継続的に食生活改善ができるように指導をすることです。命を繋ぐ妊婦さんの高血糖、高血圧は相談が多く、若年層に食の大切さを伝える必要性も感じました。そのような新たな使命を見出しつつ、頂いた賞に恥じないような活動を私の生涯の生きがいとして、食と命の大切さを伝えてまいります。



岩手県保健医療功労者 高橋 希美

この度、栄誉ある賞をいただきありがとうございます。ご推薦の労をとってくださいました会長様はじめ多くの方に深く御礼申し上げます。

私が就職した40数年前の病院給食は「早い、冷たい、まずい」と言われ、現場の努力に反して社会的な評判はあまりよくありませんでした。平成6年の入院時食事療養費制度により食費の一部自己負担と食事の質向上を目指した加算が導入され、温冷配膳導入や選択メニューを実施しようと献立の見直しやマニュアルの改訂に力を入れまし

た。その後の栄養管理実施加算やNST加算は患者個人の栄養状態の把握と細やかな対応をチームで取り組むことが求められ、同僚管理栄養士や多職種と協力して作り上げました。

このような診療報酬改定に沿った取り組みは、他の多くの管理栄養士の努力や活躍とともに病院管理栄養士・病院給食の社会的評価を高めたと感じています。

今年再就職した「特別養護老人ホーム」では、超高齢化社会での食事や栄養の大切さを身にしみて感じる毎日です。今回の受賞を励みに管理栄養士の職務を遂行し、栄養士会においては社会に貢献する役割を担ってまいりたいと思っております。

公益社団法人日本栄養士会顕彰25年業務功労者 おめでとうございます (敬称略)

浅沼 文枝 五十嵐 理保子 大石 祥子 大清水 美幸 小野寺 成子 加藤 俊子 川崎 聖子
今野 元子 斎藤 洋子 佐々木 れい子 田ノ上 かおり 堤内 和子 袴田 麻里子 長谷川 幸枝
藤田 佳子 藤平 陽子 渡辺 美紀子

活躍する管理栄養士・栄養士



医療法人謙和会荻野病院 栄養課 藤村 歩美

管理栄養士として働き始めた頃、治療のために食べたい物も食べられずに寂しい思いをされていた患者様と出会いました。私は話を聞くことしか出来ず、これで良かったのか、他に何か出来ることは無かったのか、自分の無力さを痛感したことを覚えています。

平成31年3月から荻野病院に勤務しています。今年で管理栄養士8年目となり、令和3年8月からは回復期リハビリテーション病棟の専任として、看護師、セラピストと共にリハ栄養チームとして活動しています。チーム医療の大切さを学んだ原点は遠山病院に勤めていた時のNST活動です。NSTの経験を生かし、現在は入院患者様全員に対して栄養量の過不足やその予測を毎週モニタリングし、チームでの介入が必要と判断した場合にはリハ栄養カンファレンスで支援内容を検討してい

ます。今年の11月からはinBody測定器を導入し、理学療法士が定期的に測定をした結果を栄養評価にも利用しています。体重や血液検査のデータだけでなく、体組成を数値化することにより、筋肉量や脂肪量、水分量などの変動を看護師、セラピスト、管理栄養士の視点から分析しています。

退院される患者様の多くは、生活環境を整えてご自分の生活に戻られます。チームで患者の回復を共有でき、患者様の退院を喜び合う時は管理栄養士としてこの上ない幸せです。

様々な変化に対応しながら、より良い栄養管理を提供するために挑戦し続ける管理栄養士でありたいです。



介護老人保健施設 ハートフルもりおか 浅沼 和華子

元々は料理をすることが好きで調理の道に進もうと思っていましたが、「どうやって何をいつ食べるか」を勉強していくことに興味を抱き栄養の道に進みました。

現在は JA 岩手県厚生連 介護老人保健施設ハートフルもりおかで施設の先輩管理栄養士さんから老健の栄養士としてのベースを学んでスタートし、日々奮闘しています。老健では管理栄養士が1人であることも多いため多職種協働が最も重要だと実感しています。施設で働く事で医療や介護、リハビリや介護保険、コミュニケーション方法などなど…多職種から様々な事を教えて頂きました。また、近隣の施設や病院の管理栄養士さんと情報交換したり、栄養情報提供書を使用して連携出来たりする事がとても心強いと感じています。

当施設では全国老人保健施設協会が開発された多職

種協働を実践していく「R4システム」を取り入れ、手探りではありますが利用者様一人一人のニーズに応えるために栄養士として何を行っているか、これから何ができるのか、他の職種はどんなことをしているか共有し、同じ目標に向かい利用者様と向き合っています。

この仕事をしてきて、利用者様と食事の機会や個別相談、調理レク、看取り等、近い場所で関わる事でたくさんの事を学び、栄養士としてだけでなく人間としても育てて頂いていると思っています。

これからもより良い栄養ケアをしていけるようスキルアップし、身近で話しやすい管理栄養士になれるよう精進していきます。



編集後記

コロナ禍で迎えた今年度は、会議や研修会のあり方について考えさせられる年でした。研修部と有志の皆さんの配信技術のマスターにより、ハイブリット学習を取り入れ、集合型でも在宅でも参加していただけるような体制づくりを進めました。また、残念ながら中止となった嚥下調整食の調理実習も動画配信という手段で対応し、好評をいただいています。今後も会員の皆様にスピード感をもって情報提供して参りますので、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。(広報部：伊藤理江、千葉忍、齊藤聡至)

Food for better Quality of Life



株式会社モリレイは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

■本社(本店)■

岩手県紫波郡矢巾町広宮沢11地割506番地2

TEL 019-638-9814 FAX 019-637-0369

■モリレイ営業所■ 宮古 一関 八戸 弘前

■グループ会社■ 株式会社アキレイ・秋田営業所



<http://www.morirei.co.jp>



株式会社
ホームナース

〒980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町1丁目8-10 大和ビル4階

TEL:022-716-2080

特定保健指導 指導員(管理栄養士)募集 詳細はお問合せください